

5 子ども療養支援士についてご説明にうかがってもよいですか。

ア 説明に来てほしい

イ 資料を送って欲しい

(欧米での歴史、子ども療養支援士等の業務、医学的エビデンス、我が国での雇用状況・雇用形態、デモンストレーションなど)

ウ 不要

(ご協力ありがとうございました)

施設名	
記入者の所属等・ お名前	
連絡先	

子どもの療養環境実態調査アンケートについて（依頼）

平成 24 年度厚生労働科学研究

「重症の慢性疾患児の在宅と病棟での療養・療育環境の充実に関する研究」
(主任研究者 田村正徳)

分担研究者：田中恭子

近年、子どもの権利の重要性に対する認識の広まりとともに、医師・看護師をはじめとした小児医療に携わる多職種の実績もあって、入院環境をはじめとした子どもの療養環境に一定の改善が認められます。他方で、施設間のばらつきが依然として少なくないことが見込まれます。そこで、現在の子どもの療養環境の実情と水準を調査し、もって、子どもの権利保障に資する実現可能な子どもの療養環境にかかる病院機能のあり方の検討に供したいと考え、本調査を行うものであります。

つきましては、ご多忙の折り、誠に恐縮に存じますが、本調査の趣旨にご理解を賜りまして、アンケートにご協力下さいますようお願い申し上げます。

おって、ご回答は別紙アンケート票により、できましたら平成 24 年 11 月末日までにご返信いただければ幸いです。

1 子どもの入院中、保護者に付き添いを求めますか

- 原則として求める
- 条件により求める（複数回答可）
 - 一定年齢以下の子どもには求める（ ）歳以下
 - 手術などのとき
 - 子どもや親の不安が強いとき
 - 個室に入院するとき
- 原則として求めない

2 面会（親・兄弟姉妹・その他の家族・友達）について

(1) 親の面会に制限はありますか

- 原則として自由
- 制限がある

(2) 兄弟姉妹の面会に制限はありますか

- 原則として自由
- 条件（場所や時間など）の範囲で、面会を認めている
- 全く認めていない

(3) 友達は面会できますか

- 原則として自由
- 条件（時間や場所など）の範囲で、面会を認めている
- 全く認めていない

3 子どもへのインフォームドコンセント（またはアセント）について

(1) 診療の中で、子どもへの説明はどのようにしていますか

- ほとんど説明する（医師が説明する）
- 可能な範囲で説明する（同上）
- ほとんど説明しない
- 他職種（ ）が説明する
- その他（ ）

(2) 子どもへの説明を行わないとしたら、その理由はなんですか

- 子どもは理解できない
- 精神的不安を与える
- 時間的余裕がない
- 親への説明で十分
- 子どもへの説明方法が難しい
- その他（ ）

(3) 上記(1)の質問に「説明する」と回答された方は、説明はどのようにしていますか

- 口頭で説明
- 絵や図表を用いて説明
- 動画などを用いて説明
- 人形などを用いて説明
- その他（ ）

(4) 上記(1)の質問に「説明する」と回答された方は、説明にどの程度の時間をかけていますか

（ ）分程度

(5) 何歳になれば、子どもに病気や予後の説明をすべきだと思いますか（該当部分に○を付けてください）

	3歳未満	3歳以上 6歳未満	6歳以上 9歳未満	9歳以上 12歳未満	12歳以上
感冒など急性疾患					
アレルギー性疾患					
発達障害・精神障害					
悪性腫瘍					
内分泌疾患					
てんかん					
慢性消化管疾患					
慢性腎疾患					
染色体異常					

(6) 子どもにどのような内容を説明すべきと考えますか（該当部分に○を付けてください）

	3歳未満	3歳以上 6歳未満	6歳以上 9歳未満	9歳以上 12歳未満	12歳以上
採血					
単純エックス線検査					
MRI・CT検査					
腰椎検査/骨髄検査					
心カテ					
内視鏡検査					
生検（腎・肝）					
脳波検査					
服薬について					
生活制限について					
外科手術					

(7) 上記(1)の質問に「説明する」と回答された方は、検査や治療について子どもの同意を得ていますか

- ほとんどの場合、同意を得る
- 可能な範囲で、同意を得る
- ほとんどの場合、同意を得ない

4 処置・検査・手術の際の親の同伴について

(1) 採血の処置の際、処置室へ親が同伴することを許可していますか

- 子どもが希望すれば、入ってもらう
- 親が希望すれば、入ってもらう
- 子どもと親の両方が希望すれば、入ってもらう
- 同伴は許可していない

(2) MRI・CT 検査の際、検査室へ親が同伴することを許可していますか

- 子どもが希望すれば、入ってもらう
- 親が希望すれば、入ってもらう
- 子どもと親の両方が希望すれば、入ってもらう
- 同伴は許可していない

(3) 腰椎検査/骨髄検査の処置の際、処置室へ親が同伴することを許可していますか

- 子どもが希望すれば、入ってもらう
- 親が希望すれば、入ってもらう
- 子どもと親の両方が希望すれば、入ってもらう
- 同伴は許可していない

(4) 手術の際、手術室へ親の同伴を許可していますか

- 手術場に入る前まで同伴を許可する
- 手術室に入る前まで同伴を許可する
- 手術室での麻酔導入時まで、同伴を許可する
- 許可しない

5 教育・学習について

(1) 小学生・中学生が教育を受ける機会がありますか

- 院内の分校・分教室または隣接する特別支援学校がある
- 訪問授業のみ（原則として週 日・時間）
- 何もない

(2) 高校生が教育を受ける機会がありますか

- 院内の分校・分教室または隣接する特別支援学校がある
- 訪問授業のみ（原則として週　　日・時間）
- 何もない

(3) 学校以外の学習（家庭での学習に相当するもの）を支援しているスタッフはいますか

- ボランティア
- 保育士
- その他（　　）
- いない

6 保育

(1) 病棟に保育士が配置されていますか

- はい
- いいえ

(2) 上記(1)で「はい」と回答された方にお尋ねします。何名の保育士が配置されていますか（全病棟の保育士の合計を記入ください）

（　　）名

(3) 上記(1)で「はい」と回答された方にお尋ねします。病棟に配置された保育士が入院している子どもを対象として、集団保育等、保育所の保育の目標及び内容と同様又はこれに相当する保育を行う時間はありますか

- ある
- ない

7 遊びについて

(1) 病棟内にプレイルームがありますか

- ある
- ない

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
田村正徳	8章 新生児医療 在宅医療	遠藤文夫	最新ガイドラ イン準拠 小 児科 診断・ 治療指針	中山書店	東京	2012	201-203
船戸正久	在宅重症児の支援 と今後の地域連携	前田浩利	小児在宅医療 推進会議報告 書	勇美記念 財団	東京	2012	53-63
船戸正久	バクバクの会創立 20周年記念に寄 せて	バクバクの 会	バクバクの会 創立20周年十 2 記念誌	バクバク の会	大阪	2012	164-167
子ども療 養支援協 会	平成24子ども療養 支援士認定コース 教育要項	田中恭子	平成23年度子 ども療養支援 士認定コース 教育要項	晃栄社	東京	2012	0-
子ども療 養支援協 会	平成24年度子ども 療養支援協会総 会・記念行事資料 集	田中恭子	平成23年度子 ども療養支援 協会総会・記 念行事資料集	晃栄社	東京	2012	1-24
子ども療 養支援協 会	平成24年度子ども 療養支援協会ニ ューズレター第3 号	田中恭子	平成23年度子 ども療養支援 協会ニューズ レター創刊号	晃栄社	東京	2012	1-8
田中恭子	子どもの発達の特 徴. プレパレーシ ョンの実践に必要 な知識. チームで 支える! 子どもの プレパレーション	及川郁子、 平田美佳	小児看護ベ ストプラクテ ィス	中山書店	東京	2012	1-8
窪田昭男	第1回子ども療養 支援協会シンポ ジウム. 抄録集	窪田昭男	第1回子ども 療養支援協会 シンポジウム 抄録集	ヨシダ印 刷	大阪	2012	1-14

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
高田栄子、田村正徳 他	小児在宅医療の現状と問題点	臨床栄養	122 (1)	18-19	2013
田村正徳	療育施設における医療的ケアの必要な入所児(者)およびNICU長期入院児を含む受け入れ状況等の実態調査	日本重症心身障害学会誌	37 (1)	117-124	2012
側島久典	周産期分野で共働する職種	周産期医学	42 (6)	681-684	2012
側島久典	正常新生児に対する卒前・卒後教育の課題と対策	周産期医学	42 (2)	173-178	2012
船戸正久、他	NICU長期入院者対策の提言とその対応	大阪医学	In Publication		2013
船戸正久、他	NICUの後方支援—療育施設の新たな役割	日児誌	In Publication		2013
船戸正久	NICUから療育機関へ「大阪府医師会での在宅医療支援の取り組み」	赤ちゃんネットワーク会報	15号	18-21	2012
船戸正久	NICUから療育機関へ「忘れ得ぬ小さな教師たち」	赤ちゃんネットワーク会報	14号	4-9	2012
中村 知夫	小児専門医療機関における在宅医療の現状と対策	日本小児科学会雑誌	116巻9号	1387-1391	2012年
長谷川久弥	NICU から在宅へ - 新生児の在宅酸素療法 (HOT)	NICU mate	33	8-10	2012
鶴田志緒	在宅酸素療法施行中の乳幼児に対する Personal Handy-phone System 回線を用いた在宅モニタリングシステムの検討	東京女子医科大学学会雑誌	83(臨時増刊号)	E118-E124	2013

Tanaka K, Hosozawa M, Kudo N, Yoshikawa N, Hisata K, Shoji H, Shinohara K, Shimizu T	The pilot study: Sphingomyelin-fortified milk has a positive association with the neurobehavioural development of very low birth weight infants during infancy, randomized control trial. Brain Dev. in press	Brain Dev.	35 (1)	.45-52	2012
田中恭子.	医療における発達障がい 児と家族への支援 小児科病棟での対応.	小児看護	35	600-606	2012
田中恭子, 後藤真 千子, 藤井あけ み.	子ども療養支援協会の めざすもの 子どもの 人権が守られた小児医 療の実現を.	チャイルドヘ ルス	15	564-568.	2012
田中恭子.	子どもへのインフォー ムドコンセント-プレパ レーションの技法を用 い	臨床栄養	121	94-795	2012
田中恭子.	遊びの神秘 Baby Kumon「子育て研究室」	くもん出版	2	80-82	2012

